

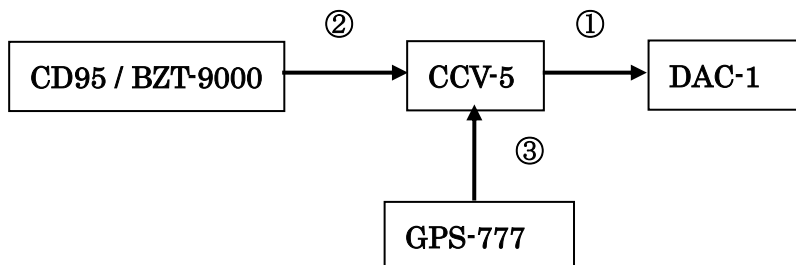
デジタルリベラメンテ試聴報告（1）
—ケーブルの使用箇所の選択—

1. はじめに

試作品を借用して西野邸訪問時に聴いていただいたデジタルリベラメンテがやっと発売になりました。早速、BNC タイプと RCA タイプを入手し、試聴することにしました。まずはケーブルの使用箇所の選択から始めます。

2. 試聴計画

再生方法としては、マランツの CD-95 による CD 再生とパナソニックのブルーレイレコーダーBZT-9000 の BS 放送録画の再生によることとし、下記のブロックダイアグラムに示された箇所を新ケーブルと置き換えて試聴しました。ケーブルは BNC タイプと RCA タイプの 2 本で、1 箇所を替えた場合と 2 箇所替えた場合について実施しました。なお、GPS-777 から CCV-5 へのクロック入力についてはメーカーは推奨していませんので、あくまで参考程度としておきます。このクロック入力専用ケーブル試作品がオーディオセッション in Osaka 2012 のデモで使われていたので、後日発売されるのではないかと推察されます。デジタルケーブルの接続は下記のとおりです。



実験 I 1 箇所置き換え

Case1 ① : DGC- B5→DGL-1.3BNC

② : DGC- R5

③ : DGC- B5

Case2 ① : DGC- B5

② : DGC-R5→DGL-1.3RCA

③ : DGC- B5

Case3 ① : DGC- B5

② : DGC- R5

③ : DGC-B5→DGL-1.3BNC

Case1 は CCV の出力側が新ケーブルで他は従来ケーブル、Case2 は CCV の入力側が新ケーブルで他は従来ケーブル、Case3 はクロック入力为新ケーブルで他は従来ケーブルとなっています。

実験Ⅱ 2箇所置き換え

Case1 ① : DGC-B5→DGL-1.3BNC

② : DGC-R5→DGL-1.3RCA

③ : DGC-B5

Case2 ① : DGC-B5

② : DGC-R5→DGL-1.3RCA

③ : DGC-B5→DGL-1.3BNC

Case3 ① : DGC-R5→DGL-1.3RCA

② : DGC-R5

③ : DGC-B5→DGL-1.3BNC

実験Ⅱの Case1 はクロック入力だけが従来ケーブルで CCV の入力側と出力側が新ケーブル、Case2 はクロック入力と CCV-5 への入力側が新ケーブルで、Case3 はクロック入力と CCV-5 の出力側が新ケーブルです。

音源としてはクラシックの器楽、声楽、オーケストラを用い、なるべく実際に演奏を聴いてきた演奏家の BS 録画や CD を用いるようにしました。試聴装置はいつものとおり、300B シングルアンプ駆動で Western の単線でバイワイアリングした FAL C90EXW です。

3. 試聴結果

実験Ⅰの1箇所置き換えでは CD-95 による CD 再生と BZT-9000 の BS 録画再生とも、好ましい音質として CCV-5 の出力側を新ケーブルとする Case1、CCV-5 の入力側を新ケーブルとする Case2、クロック入力を新ケーブルとする Case3 の順となりました。

総じて実験Ⅱの2箇所置き換えでは実験Ⅰの1箇所置き換えよりさらに効果が増加します。しかし、Case2 と Case3 の新ケーブルをクロック入力に使用するとメーカーのいうとおり Case1 より音質が好ましいとは言えません。Case2 と Case3 を比較すると実験Ⅰの1箇所置き換えと同様、CCV-5 の出力側を新ケーブルとする Case3 が好ましいと言えます。つまり、音質的には、Case1>Case3>Case2 の順となりました。

ここで好ましい音質とは、弦や木管の質感、オーケストラの分離とハーモニーなどを指標とし、実際に演奏を聴いてきた印象に近いかどうかを最終判断基準としています。具体的には BS 録画ではクイケンのビオラ・ダ・ガンバやレイ・チェンのストラディバリウスの楽器の質感、カルミニョーラ／ヴェニスバロックや樫

本大進／ベルリン・バロック・ゾリステンの弦楽合奏の艶や協和感、ピエール・アンタイのチェンバロの繊細感など、CD 再生ではヤンソンス／バイエルン放送管弦楽団やフェドセーエフ／チャイコフスキー・シンフォニー・オーケストラの音の厚みと迫力、ベルリン古楽アカデミーの古楽器の音色、山本邦山の邦楽の音の立ち上がりと切れの感じ、イタリアバロックのアンナ・バルトリのソプラノの透明感などなどです。

4. まとめ

まず、新ケーブル1本だけでも多大な効果があり、1本だけなら CCV-5 の出力側に使うのが妥当と思われます。さらにそれほど意味がないのではないかと思われた CCV-5 の入力側への2本目の追加が、予想外に効果が大きいことが分かりました。

このように新ケーブルを順次置き換えていくと効果は大きくなっていきますが、クロック入力には一般の市販品からの変更は意味があるかもしれませんが、インフラノイズのデジタルケーブルの従来製品からの変更はそれほど大きな効果があるとは言えませんでした。メーカーによればクロック入力専用ケーブルを開発中とのことですので、大いに期待しております。

以上